

2022国際奉仕フォーラム

2022年4月14日

会場：宇都宮東武ホテルグランデ

時間：13：00～13：45（15分延長）

国際奉仕委員長 安達暁一

ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会 代表 名知 仁子（なち さとこ）先生 講演

<https://mfcg.or.jp/>

演題：（仮）「ミャンマーから 現地の想いを語る」（ZOOM講演）

名知 仁子（なち さとこ）先生【プロフィール】



タイ、ミャンマーの国境沿いでカレン族に対する医療支援や、ミャンマーデルタ地帯でのサイクロン被害に対する緊急人道援助など数々の国際医療支援活動を経て、2009年には国際緊急医療支援団体日本支部理事、翌年2010年には同団体専務理事に就任。衛生面の問題や民族や宗教の対立、貧困など困惑することや無念なこともあったが、学ぶことも多かった。なによりも現地の人の明るさや優しさに触れ、マザー・テレサの言葉通り、「自分の心が豊かになる」のを体験する。

- 経歴
- 1963年 新潟県生まれ。1988年 獨協医科大学を卒業後、日本医科大学第一内科医局に入局。
 - 1999年 マザー・テレサの本にあった「あなたの愛を誰かに与えれば、それはあなたを豊かにする」という一節に感銘を受けると同時に、日本の医療のさまざまな問題に疑問を感じ、国際医療を志す。国境なき医師団(MSF)に入団するため英語を猛勉強するが、途中で原因不明の病に倒れ4か月間入院。7ヶ月間リハビリに従事する。
 - 2002年 日本人として5人目となる国際緊急医療支援団体・国境なき医師団の一員に。
 - 2008年 任意団体ミャンマー クリニック菜園開設基金(MFCGの前身)を設立する。
 - 2009年 国境なき医師団日本支部の理事に選出
 - 2010年 国境なき医師団日本支部の専務理事に選出ミャンマー：パティン地域でカレン族などに対する巡回診療(横浜YMCA)
 - 2011年 「ミャンマークリニック菜園開設基金」を「ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会(MFCG)」と改名し、東京都荒川区に事務所を開設
「内閣府 地域社会雇用創造事業」の一環としてグランドワークス三島が実施する「グラウンドワークインキュベーション」のコンペに第1位で通過、支援を受ける
 - 2012年 社会起業大学主催のソーシャル・ビジネス・グランプリ大会でビジネス・グランプリ大賞を受賞
 - 2015年 公益財団法人「社会貢献支援財団」の「社会貢献者表彰」受賞者に選出
 - 2016年 朝日新聞 ひと 欄に紹介される
 - 2017年 日本経済新聞(2017年2月25日付け朝刊)「キャリアの扉」に掲載される。
 - 2018年 Webマガジン「Epistle」に掲載される。

講演料：問合せ中

※2021年8月24日 TBSで活動が紹介されました。<https://www.youtube.com/watch?v=g6RVzfSRfOM>